

受賞者氏名	中野 貴之	
所属	キャリアデザイン学部キャリアデザイン学科	
受賞年月日	2025年3月28日	
国内・国外	国内	
授与機関等名称	中央経済社	
受賞名	第5回『企業会計』カンファレンス優秀賞	
受賞(研究)内容詳細	<p>わが国の上場企業は、金融商品取引法に基づき、「四半期報告書」の提出・公表を四半期ごとに行ってきた。なお、同報告書に含まれる財務諸表については、監査法人等によるレビューが義務づけられてきた。</p> <p>ところが2022年より「四半期開示の見直し」に関する審議が進められた結果、「四半期報告書」は廃止され、証券取引所の規制に基づく四半期決算短信に一本化されることとなった。これを受け、2024年3月期決算以降、監査法人等による四半期レビューは任意化された。同任意化後は、上場企業の約25%が自発的に当該四半期レビューを受けている。</p> <p>本報告では、同制度改定後初となる四半期決算短信のデータを用いて、同任意レビュー実施企業(非実施企業)の特性の解明を試みた。検証の結果、わが国上場企業による当該意思決定には、監査法人の規模およびガバナンスの特性等が関連していることと整合する証拠を得た。以上の結果は、同任意レビューの実施または非実施をめぐる意思決定には、監査の需要と供給要因、および、社外取締役を含む企業ガバナンスの有効性が関連している可能性があることを示唆している。</p>	